

執筆者（\*は編者）

\*木下 京子（多摩美術大学教授、フィラデルフィア美術館学芸員）

朝日美砂子（金城大学等非常勤講師、前・名古屋城調査研究センター学芸員）

五十嵐公一（大阪芸術大学教授）

奥平 俊六（大阪大学名誉教授）

久保 智康（京都国立博物館名誉館員、叡山学院教授）

松本 直子（京都市文化市民局元離宮二条城事務所学芸員）

山澤 学（筑波大学人文社会系准教授）

ペギー・オリー

（フィラデルフィア美術館保存修復部木工・家具修復課長）

ケイト・ダフィー

（フィラデルフィア美術館保存修復部シニア科学アナリスト）



掲載作品例：フィラデルフィア美術館蔵  
「牡丹に唐獅子図」(上) / 「西王母図」(下)



木下京子 編

# 杉戸絵の研究

思文閣出版

杉戸絵についての

初の本格的な研究書！

徳川家ゆかりの御殿と神社仏閣から、  
在米美術館が所蔵する杉戸絵まで、  
カラー図版を豊富に収録！



A4判上製本・総418頁  
(カラー口絵150頁)  
定価：22,000円(税込)

A Study of *Sugito-e*:  
Painted Cedar Sliding Door Panels  
in Castles, Temples, and Shrines  
Associated with the Tokugawa Family,  
and in Imperial Palaces  
after the Meiji Restoration

Kyoko Kinoshita, ed.  
Shibunkaku Publishing Co., Ltd.

発行：思文閣出版 〒605-0089 京都市東山区元町355 tel:075-533-6860 <http://www.shibunkaku.co.jp> E-mail: [pub@shibunkaku.co.jp](mailto:pub@shibunkaku.co.jp)

冊数	冊	杉戸絵の研究	本体 22,000円(税10%込)	ISBN978-4-7842-2131-8 C3071
お名前	tel			
	e-mail			
ご住所	〒			
送本方法	代引（書籍＋消費税を現品と引き換えにお支払い、送料・代引手数料は弊社負担） ◎最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます◎			



本書HP QRコード

# 近世の権力空間や宗教空間を彩った杉戸絵——その歴史と美を問い直す。国内外に分散する杉戸絵から、

その歴史と美を問い直す。近世の城郭御殿や神社仏閣において杉戸は不可欠な建具であったが、その一部は「廃城令」以後に海外へと流出した。現在アメリカの美術館の収蔵庫に眠っているそれらの引手に刻まれた装紋は、徳川の時代の記憶を今もなお静かに伝えている。

一方、日本に現存する杉戸は、その扱いや保存・評価の難しさから、杉戸絵が障壁画研究において副次的に取り上げられることはあっても、研究主体として扱われることはほとんどなかった。

本書では、徳川家ゆかりの寺院や霊廟に伝来する杉戸、明治宮殿の杉戸、在米美術館所蔵の杉戸絵など国内外に分散する杉戸の実態を総合的に分析。豊富なカラー図版と研究者七名による論文・コラムを通じて、これまで周縁化されてきた杉戸絵研究の基礎を確立することを目指す。

## 杉戸絵の研究 ◆ 目次

はじめに

### 【図版篇】

鶴林寺本堂の杉戸絵

西教寺客殿の杉戸絵

名古屋城本丸御殿の杉戸絵（名古屋城総合事務所蔵）

伝名古屋城二之丸御殿の杉戸絵（現衝立装、個人蔵）

相応寺の杉戸絵（相応寺蔵・岡崎市蔵）

建中寺の杉戸絵

名古屋城竹長押茶屋の杉戸絵

（名古屋城二之丸御殿桜之間の杉戸絵、個人蔵）

伝西浜御殿の杉戸絵（名古屋博物館蔵・遍照院蔵）

名古屋離宮の杉戸（名古屋城総合事務所蔵）

二条城二之丸御殿の杉戸絵（京都市元離宮二条城事務所蔵）

養源院本堂の杉戸絵

喜多院客殿の杉戸絵

日光東照宮の杉戸絵

〔参考〕「日光山御宮之図」部分（大阪城天守閣蔵）

輪王寺大猷院の羽目板絵

紀州御殿の杉戸絵（大阪城天守閣蔵）

和歌山城の杉戸絵（和歌山城整備企画課蔵）

イザベラ・ガードナー美術館蔵の杉戸絵

ボストン美術館蔵の杉戸絵

フィラデルフィア美術館蔵の杉戸絵

〔参考〕東京国立博物館蔵「江戸城障壁画下絵」

### 【論文篇】

序論 杉戸と杉戸絵——成立とその展開——

「コラム」近世の飾金具

名古屋城下の杉戸絵

「コラム」名古屋城の杉戸絵——指定と保存・修理と現場——

「コラム」旧国宝 名古屋離宮の杉戸——引手を手掛りに

二条城二之丸御殿杉戸絵について

——徳川幕府の城郭御殿杉戸絵との比較から——

「コラム」二条城二之丸御殿杉戸絵の修理と模写について

「コラム」二条城本丸御殿（旧桂宮御殿）の杉戸絵

宗達と板絵の画家——養源院の杉戸絵はどのように描かれたのか——

「コラム」喜多院障壁画と土佐一得

江戸狩野派杉戸絵・羽目板絵と徳川將軍家霊廟の荘厳

明治宮殿杉戸絵——『皇居御造営誌』『皇居造営録』から分かること——

アメリカに流出した城郭御殿と寺院の杉戸

「コラム」フィラデルフィア美術館所蔵の杉戸について

……ペギー・オリバー、ケイト・ダフィー、木下 京子

謝辞／あとがき／執筆者紹介／収録杉戸絵一覧／英文目次・要旨

【図版篇】紙面イメージ



カラー写真を豊富に収載

引手の画像も掲載

【論文篇】紙面イメージ



研究者による論文で徹底分析



保存・修復の問題などをコラムで提起

- ・平成三〇年（二〇一八）より始まった「近世杉戸絵に関わる総合的研究」研究プロジェクトの成果を書籍化
- ・【図版篇】と【論文篇】の二部構成
- ・【図版篇】では、二〇の機関が所蔵する杉戸絵の写真をカラーで全掲載
- ・【論文篇】では、論文とコラムによって、杉戸絵の歴史から絵師・図様・制作事情の分析、保存修復の問題に至るまで、美術史学の専門家が多角的に分析